

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	28名	○学生リーダー会学生21名（2期生17名、1期生4名） ○一般学生7名
企業	8名	小林製薬株式会社、株式会社消費科学研究所、TOTO株式会社、 イカリ消毒株式会社（2名）、ハウス食品株式会社、 ミズノ株式会社、花王株式会社
大学	2名	和歌山大学（2名）
その他	8名	大阪府消費生活センター（3名）、日経新聞社（取材）、 学生支援員（2名）、事務局（2名）
合計	46名	

<第3回交流会の様子>

1. 開会式

司会：東 真那 統括：浦谷 拓弥

リーダー会を代表しての挨拶：宮本 貴章

初めに、司会者から注意事項、資料の確認等があり、続いて開会宣言を行った。開会宣言では、リーダー会の指針や志などについても述べた。



2. 消費者教育についての紹介：林 宰人

消費者教育に関して、消費者教育推進法等の法律や「正しいお金の使い方」、「詐欺などから自分の身を守る」、「社会全体のためのより良いお金の使い方、使われ方」等の消費者教育の意義を踏まえた上で、リーダー会が認識している消費者市民社会への啓発などについて発表した。



3. リーダー会の活動紹介

① 和歌山大学単位互換科目「消費生活論」TA 活動について：小路 眞菜美

南大阪地域大学コンソーシアムで今年度受託した文部科学省『連携・協働による消費者教育推進事業』における消費者教育推進のための実証的共同研究の一環として、南コンソの単位互換制度を活用して開講された和歌山大学提供科目「消費生活論～私たちの力でまちを活性化させよう!」に、ティーチング・アシスタント (TA) として授業支援、学生支援を行った活動について紹介した。また最終日はテクスピア大阪にてイベントも開催し、その準備や当日の様子についても発表した。



② 和歌山県「消費者教育講座」TA 活動について：福田 悠斗、和田 佳寿也

和歌山市中央コミュニティセンターにて、和歌山大学の岡崎裕教授による「自らの身を守り、公正で持続可能な社会の発展に寄与する消費者とは」という講義に TA として参加した。活動紹介では、その時の様子や様々な年代の方たちとの交流により得られたことなどについて述べた。



③ リーダー会のホームページによる情報発信について：戸嶋 陽向

リーダー会の広報部によるホームページ作成の進捗状況について報告した。また今後の方針として、誰でも気軽に見てくれるような分かりやすいホームページにしていきたい旨も伝えた。



4. 企業活動紹介：TOTO株式会社 お客様本部 谷一 暢樹 様

テーマ：『広く社会や地球環境に貢献する存在であり続けることを目指して』

水の消費による地球温暖化への影響や節水のメリットとデメリットなどの説明をしていただいた。またそれらに対する企業活動としての、グローバル環境ビジョンや中期経営企画、環境商品など環境を配慮した活動や消費者啓発のための顧客とのコミュニケーションの大切さなどについて述べられた。



5. ワークショップ：ファシリテーター 嶋田 南

テーマ：『水資源に対する消費行動を見つめ直そう！』

まず、第一のワークショップとして「水に対して私たちはどのような印象を持っているか」についてディスカッションを行った。このディスカッションの目的としては、日本人にとって当たり前となってしまう「水」という資源、それを一消費者として、一生産者としての見解や、昔と今とでの違いなどを考える場を設けるというものであった。



次に、そのディスカッションを基にキャッチコピーを作成することで、親しみやすく身近なものとして環境問題に目を向けられると考え、そのためのワークショップを行った。そして、そのキャッチコピーを5～6人ほどのグループごとに発表していただいた。

発表で出たキャッチコピーは以下のものであった。

- ・ちょっとまって!! そんなんやってんの日本だけで!!
- ・流れる水を 眺めるな
- ・蛇口を閉めて 未来の子どもの涙をとめよう ～明るい未来が開かれる～
- ・心にとどめて 水とめて
- ・あなたの節約が 未来を救う
- ・水は金なり
- ・節水を適水に



6. 閉会

○全体振り返り：和歌山大学 教授 岡崎 裕

○挨拶：産学協働人材育成機構 AICE 企画運営委員長
鯨坂 恒夫（和歌山大学教授）

初めに、全体の振り返りとして、和歌山大学の岡崎裕先生から学生リーダー会の活動について、学生たちの目に見えての成長と今後への期待が述べられた。



続いて、鯨坂先生から、ここに参加している学生は、意識が高く行動もしている。学生リーダー会のような活動が続いていくことを期待すると述べられた。



(4) 大阪府消費者教育学生リーダー認定式

第3回企業×学生交流会の最後に大阪府消費生活センターによる認定式を執り行った。認定式では、大阪府消費者教育学生リーダーの認定要件を満たした学生に対して、認定証ならびに認定カードが授与された。

認定者数	19名(7大学)
------	----------

